

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6			・利用定員に対して十分な療育スペースを確保している。 ・療育スペース内をパーティションで分け、学習スペース(8名分)を設けている。
	2	職員の配置数は適切であるか	6			・法令で定められた基準を満たしている。 ・児童生徒とスタッフの割合が2～2.5:1となるように配置し、療育体制を整えている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	3	1	・室内はバリアフリー化されているが、正面入口に階段がある。 ・正面入口の階段について、歩行に不安がある児童生徒の昇降時にはスタッフがマンツーマンで付き添い、安全確保に努めている。 ・現在、スロープが必要な児童生徒の利用はないが、今後の状況に応じて簡易スロープ等の設置を検討する。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3	3		・業務形態の違いにより全スタッフが会議等に参画する機会はないが、会議録等にて全スタッフに周知している。 ・定期的に全スタッフが集まり、話し合う機会を設ける。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	1		・アンケート調査を実施し、保護者からの意見や要望等に対して、可能な範囲で対応している。 ・放課後等デイサービス評価表(保護者等
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	1	1	・放課後等デイサービス自己評価表(事業者向け)のまとめは、平成30年3月に弊社ホームページにて公開する。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	1	3	・現在、第三者による外部評価等を実施していない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	1		・児童生徒の療育活動に支障のない範囲で外部機関主催の研修等に参加している。 ・研修参加者は、研修報告を行い、その内容を全スタッフで共有している。
適切な	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			・利用契約時やモニタリング時に児童生徒の課題や要望を把握し、ケース検討会議を経て個別支援計画を作成している。 ・ケース検討会議の結果を全スタッフに周知している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	2		・所定のアセスメント表を使用して、児童生徒の状況や課題等を把握している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	1	1	・スタッフ間で意見交換し、内容を確認している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			・月単位で活動内容を立案、実施している。 ・季節行事等を取り入れ、療育活動が画一的にならないよう配慮している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	3		・児童生徒の心身の状態や人数、要望等に応じて、日課を設定している。 ・土曜日や祝日、長期休暇といった活動時間が長い日は、少なくとも半日は屋外活動(事業所外活動)を取り入れるよう努めている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			・児童生徒の状況や要望等に合わせて課題を設定し、個別支援計画を作成している。

支援の提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	1	5	・形式的ではないが、重要な伝達事項や検討事項等については打ち合わせを実施している。 ・児童生徒の出欠状況や日課等の予定、連絡事項等は、ホワイトボードに掲示し、全スタッフに周知している。 ・勤務スタッフが揃った段階で、児童生徒の状況や送迎体制、日課等の予定、前日からの引継ぎ事項、連絡事項等を確認する。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	4	・形式的ではないが、重要な伝達事項や検討事項等については打ち合わせを実施している。 ・勤務形態の違いや送迎業務により、療育終了後に勤務スタッフが揃うことが困難なため、連絡事項等は、ホワイトボードに掲示し、全スタッフに周知している。 ・引継ぎ事項は、翌日の療育開始前の打ち合わせで勤務スタッフに周知する。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	1	・サービス提供記録(連絡帳)は必ず記録し、定期的なモニタリング時等に支援経過を検証している。	
関係機関や保護者との連携	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6		・6か月ごとにモニタリングを実施し、療育の経過を確認し、状況に応じて個別支援計画の見直しを実施している。 ・モニタリング終了後にケース検討会議を実施し、児童生徒の課題や個別支援計画の具体的支援内容等について話し合っている。 ・ケース検討会議の結果を全スタッフに周知している。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	4	2	・児童生徒の課題や要望等に合わせて、基本的日常生活動作の支援や創作活動、余暇の提供等を実施している。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	1	・児童生徒の療育活動に支障のない範囲でサービス担当者会議に参加している。 ・定期的に児童生徒を担当する相談支援事業所を訪問し、情報を共有している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6		・送迎時に児童生徒の様子等について情報交換している。 ・利用予定表の提出と行事予定の交換を毎月実施している。 ・緊急時や送迎時刻の変更等の際の連絡体制を整えている。 ・学校主催の事業者説明会等に参加している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	1	3	・現在、医療的ケアが必要な児童生徒の利用はないが、かかりつけ医や主治医等を把握し、緊急時に迅速な対応ができるよう体制を整えている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	2	3	・相談支援専門員等を通じて、必要な情報は把握している。 ・必要に応じて連携を図り、情報共有と相互理解に努める。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	3		・相談支援専門員等を通じて、必要な情報は提供している。 ・必要に応じて連携を図り、情報提供に努める。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	1	2	・児童生徒の療育活動に支障のない範囲で外部機関主催の研修等に参加している。 ・研修参加者は、研修報告を行い、その内容を全スタッフで共有している。

	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		4	2	・特別な交流機会は設けていないが、地域のイベント等に積極的に参加し、交流を図っている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		4	2	・地域の自立支援協議会等に必要な部会が設置されていない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			・送迎時やサービス提供記録にて、利用時の様子を伝えるとともに、ご自宅での様子を伺い、児童生徒の状況や課題について共通理解を図っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	2	1	・保護者からの相談に応じて適宜助言等を行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			・十分に時間をかけ、丁寧な説明に努めている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			・保護者からの相談に応じて適宜助言等を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			6	・現在、保護者会を実施していない。 ・保護者会について、保護者の意見・要望を踏まえ、設置を検討する。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			・事業所や市町村、県社協の相談苦情受付窓口について、重要事項説明書に記載し、保護者に説明している。 ・相談苦情を受け付けた際は、その内容や対応、改善点等について記録し、スタッフ間で共有している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			・活動内容の報告や今後の予定等を掲載した『遊学館だより』を毎月発行し、児童生徒のご家庭や行政窓口、関係機関に配布している。 ・フェイスブックで、日々の活動の様子を公開している。
	35	個人情報に十分注意しているか	6			・個人情報は、施錠できる書庫にて適切に管理している。 ・個人情報の取り扱いについて、利用契約時に書面で説明している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			・日々の療育について、連絡帳への記載と口頭による伝達に努めている。 ・お知らせ等は、書面で説明している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			6	・現在、地域住民との交流機会はほとんどない。 ・行事等への招待は難しいが、地域のイベント等に積極的に参加し、交流を図っている。
非常	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	1		・各マニュアルの内容について、スタッフ間で共通理解を図り、緊急時に適切な対応ができるよう努めている。 ・緊急時や災害時に各マニュアルに沿って対応することを保護者に周知しているが、具体的内容までは説明していない。 ・緊急時や災害時の連絡方法等について保護者に周知する。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			・非常災害(火災・地震・竜巻等)を想定した避難訓練を年2回実施している。 ・事業所の建物や消防設備等について、定期的に点検し、非常災害に備えている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	2	1	・虐待防止のための事業所内研修を年1回実施している。

時 等 の 対 応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	2	1	・身体拘束について、利用契約書に記載し、保護者に説明している。 ・現在、身体拘束を必要とする事例はないが、緊急やむを得ない場合により身体拘束を行う場合には、その態様や時間、その際の児童生徒の心身の状態並びに身体拘束を行った理由について記録し、保護者に報告する。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	2	2	・現在、食物アレルギーのある児童生徒の利用はないが、利用契約時に食物アレルギーの有無を確認し、状況に応じて医師の指示を仰ぎ、連携を図っていく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	1	2	・きちんとした形でまとまっていない ・ヒヤリハット事例を精査し、事故防止に繋げていく。